

基本方針 1 「豊かな田園文化の継承と水田農業革命の実現」

藤島地域ではこれまで庄内農業の中心として築き上げてきた田園文化を継承しながら、農産物販売額の拡大を図っていくため、稲作を基幹としながら園芸特産物の生産拡大と認証、販売戦略によるブランド化、さらには加工等による付加価値増進により、水田農業を変革し農村地域の豊かさを再生します。

また、地域住民、特に子どもたちが庄内農業の未来や魅力に関心を持ち、地域への誇りと愛着を育む取組みを推進します。

庄内農業高等学校が、さらに魅力ある学校として発展することを支援するとともに、地域の活性化を図るため、地域や関係団体等との連携を図ります。

具体的な展開方策（1） 藤島発！！鶴岡の米プロジェクト		【着眼点との整合：オンリーワンを目指すプロジェクトの実施】																																																			
<p>藤島地域が保有する農業関連資源や有機認証のノウハウなどをフルに活用して、農家と地域の消費者の双方で支える仕組みを構築するとともに、国内屈指の良質米産地として、さらなる産地イメージの向上を図ります。</p>	<p>○主な施策</p> <p>①作る人食べる人双方で支える地域農業</p> <p>有機農業を始めとする「人と環境にやさしい農業」については、地域及び首都圏の消費者にPRし、藤島から発信する産地ブランドとして流通拡大を図ります。また、鶴岡市が認証機関であることを活かし、藤島独自のローカル認証規格を設立し、地域固有の物語を加えたブランドとして、地域の有機栽培米や特別認証栽培米の生産流通を増やします。</p> <p>②産地及び鶴岡産米のイメージアップ</p> <p>コンクール受賞歴のある農家からの指導や山形県水田農業試験場、庄内たがわ農業協同組合などとも連携を図り、今後のコンクール上位入賞に向けて若手農業者への食味向上塾の開催や、イベント会場での食味求評会を開催し、取組みを盛り上げます。</p> <p>③J A S有機農産物・特別栽培農産物の拡大</p> <p>藤島地域は、古くから水稻主体の農業地帯であり、高度な栽培技術を培いながら、世界レベルでの環境保全の先駆けになるろうとして資源循環型農業を中心に環境にやさしい安全・安心な農作物づくりを推進してきました。現在、有機特裁割合は地域全体の53%となっており、今後も農薬や化学肥料に頼らない有機農産物や特別栽培農産物などの普及拡大を推進していきます。</p> <p>特に有機農業への取り組みについては、除草技術を確立することが重要であるため、今後も実証展示圃を設置し公開するとともに、新規取り組み者や希望する慣行栽培農家等については、豊かな経験を有する農家より技術支援を行います。また、有機栽培等へのステップアップを進めるため、地域内に有機栽培サポートエリアを設け、計画的な栽培面積の拡大も図ります。</p> <p>④G A Pの取組み</p> <p>G A Pに対する理解度を深めてもらう為、農業者が集まる機会等にG A Pの説明をしながら推進します。</p> <p>⑤良質堆肥の生産、及び農地還元</p> <p>消費者が信頼できる農産物を安定して生産するためには、水田や畑の土を健康に保つことが栽培の基本となります。そのため、堆肥等の良質な有機物を施用し、土を柔らかくし根の育成を良くするとともに、土に含まれる養分や生息する生物相を改善するなど、土の健康を保つ上で有効な手段を講じる必要があります。</p> <p>本事業により、地元の家畜糞から良質な堆肥を生産し、耕種農家との連携により農地への還元を図ります。</p>	<p>○具体的な事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>主な内容</th> <th>区分</th> <th>未来事業の選択</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人と環境にやさしい農業推進事業①</td> <td>有機栽培出前講座の実施、消費者交流会や水田農業体験</td> <td>拡充</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>人と環境にやさしい農業推進事業②</td> <td>ローカル認証、シール・米袋製作</td> <td>新規</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>お米コンクール制覇プロジェクト事業</td> <td>お米コンクールで上位入賞を目指す若手育成</td> <td>新規</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>環境保全型農業推進事業</td> <td>有機展示圃、研修会の開催</td> <td>継続</td> <td></td> </tr> <tr> <td>有機栽培農産物ステップアップ事業</td> <td>有機農業へのステップアップ支援</td> <td>新規</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>有機栽培農産物販売促進PR事業</td> <td>首都圏消費者へのPR</td> <td>新規</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>藤島産 人と環境にやさしい農産物ブランド化事業</td> <td>有機米のブランド化に向けたPR</td> <td>新規</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>鶴岡市農産物認証事業</td> <td>有機・特裁認証事業のローカル認証</td> <td>継続</td> <td></td> </tr> <tr> <td>GAP研修会の開催事業</td> <td>資格取得事業補助</td> <td>継続</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県GAP取組100%運動事業</td> <td>県GAPの取組支援</td> <td>新規</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土づくり推進事業</td> <td>優良堆肥の安定生産</td> <td>継続</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業名	主な内容	区分	未来事業の選択	人と環境にやさしい農業推進事業①	有機栽培出前講座の実施、消費者交流会や水田農業体験	拡充	○	人と環境にやさしい農業推進事業②	ローカル認証、シール・米袋製作	新規	○	お米コンクール制覇プロジェクト事業	お米コンクールで上位入賞を目指す若手育成	新規	○	環境保全型農業推進事業	有機展示圃、研修会の開催	継続		有機栽培農産物ステップアップ事業	有機農業へのステップアップ支援	新規	○	有機栽培農産物販売促進PR事業	首都圏消費者へのPR	新規	○	藤島産 人と環境にやさしい農産物ブランド化事業	有機米のブランド化に向けたPR	新規	○	鶴岡市農産物認証事業	有機・特裁認証事業のローカル認証	継続		GAP研修会の開催事業	資格取得事業補助	継続		県GAP取組100%運動事業	県GAPの取組支援	新規		土づくり推進事業	優良堆肥の安定生産	継続	
	事業名	主な内容	区分	未来事業の選択																																																	
人と環境にやさしい農業推進事業①	有機栽培出前講座の実施、消費者交流会や水田農業体験	拡充	○																																																		
人と環境にやさしい農業推進事業②	ローカル認証、シール・米袋製作	新規	○																																																		
お米コンクール制覇プロジェクト事業	お米コンクールで上位入賞を目指す若手育成	新規	○																																																		
環境保全型農業推進事業	有機展示圃、研修会の開催	継続																																																			
有機栽培農産物ステップアップ事業	有機農業へのステップアップ支援	新規	○																																																		
有機栽培農産物販売促進PR事業	首都圏消費者へのPR	新規	○																																																		
藤島産 人と環境にやさしい農産物ブランド化事業	有機米のブランド化に向けたPR	新規	○																																																		
鶴岡市農産物認証事業	有機・特裁認証事業のローカル認証	継続																																																			
GAP研修会の開催事業	資格取得事業補助	継続																																																			
県GAP取組100%運動事業	県GAPの取組支援	新規																																																			
土づくり推進事業	優良堆肥の安定生産	継続																																																			
具体的な展開方策（2） 藤島発！！園芸作物拡大プロジェクト		【着眼点との整合：オンリーワンを目指すプロジェクトの実施】																																																			
<p>枝豆などの土地利用型園芸作物を振興して水田における複合経営を推進し、稲作単作に依存した経営からの脱却と経営の安定化を図ります。</p>	<p>○主な施策</p> <p>①枝豆作付 50h aの実現と茶豆ブランドの確立</p> <p>重点作物として枝豆を推進し、「茶豆ブランド」の確立をめざして枝豆作付面積の拡大を図ります。</p> <p>②露地ネギ、軟白ネギの生産振興</p> <p>重点作物として露地ネギ、軟白ネギを推進し、育苗ハウスの有効活用を進め、農業所得の向上を図ります。</p> <p>③集出荷施設の整備と作業組織の育成</p> <p>施設整備や機械導入等に対し、国庫補助事業の活用とともに、上乘せ補助を検討します。また、枝豆について作業組織の育成に取組み、作業を委託できる体制づくりを推進します。</p> <p>④農産物の加工推進</p> <p>地場産農産物の加工を推進し、ブランド化を図るとともに、地域産業の振興を目指します。</p> <p>⑤産直等の活用</p> <p>生産者がこだわりを込めた農産物であることを発信していくためには、地場産であることや、安全・安心の栽培手法であることを売り場で特徴づけして販売し、消費者に伝えることが効果的であることから、地域内にある産直施設を活用していきます。</p>	<p>○具体的な事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>主な内容</th> <th>区分</th> <th>未来事業の選択</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産地パワーアップ事業(枝豆)</td> <td>農業機械補助</td> <td>新規</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>産地パワーアップ事業(ネギ)</td> <td>農業機械補助</td> <td>新規</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>強い農業づくり交付金事業(枝豆)</td> <td>集荷施設等整備</td> <td>新規</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>農産物の加工推進事業</td> <td>地場産農産物の加工推進とブランド化</td> <td>新規</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>施設管理事業(エコタウンセンターの管理)</td> <td>施設管理、有効活用方策の検討、貸付受付事務</td> <td>継続</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業名	主な内容	区分	未来事業の選択	産地パワーアップ事業(枝豆)	農業機械補助	新規	○	産地パワーアップ事業(ネギ)	農業機械補助	新規	○	強い農業づくり交付金事業(枝豆)	集荷施設等整備	新規	○	農産物の加工推進事業	地場産農産物の加工推進とブランド化	新規	○	施設管理事業(エコタウンセンターの管理)	施設管理、有効活用方策の検討、貸付受付事務	継続																									
	事業名	主な内容	区分	未来事業の選択																																																	
産地パワーアップ事業(枝豆)	農業機械補助	新規	○																																																		
産地パワーアップ事業(ネギ)	農業機械補助	新規	○																																																		
強い農業づくり交付金事業(枝豆)	集荷施設等整備	新規	○																																																		
農産物の加工推進事業	地場産農産物の加工推進とブランド化	新規	○																																																		
施設管理事業(エコタウンセンターの管理)	施設管理、有効活用方策の検討、貸付受付事務	継続																																																			

具体的な展開方策（3） 食農教育等を通じたふるさと意識の醸成

【着眼点との整合：オンリーワンを目指すプロジェクトの実施】

藤島地域は、庄内の代表的な産業である稲作農業の中心地であり、そのなかで特に人と環境にやさしい農業に主眼を置いて取り組みを継続してきました。

本事業は、こうした人と環境にやさしい農業により生み出される農作物の重要性を、食農教育や農業体験学習を通して子供達に伝え、子供たちが庄内農業の未来や魅力に関心を持ち、地域に誇りと愛着を持つようになることに取り組んでいきます。

○主な施策

①次世代を担うこどもたちの食農教育を通じたふるさと意識の醸成

全国の小学生は、5年生時に、通常の授業において「米づくり」の仕組みを学習し始めており、藤島地域では授業に加え、田植から稲刈り、炊飯し食べるまでを実習でも学習しています。

特に本地域では、有機農業などの人と環境にやさしい農業を推進しており、有機農家自らが炊飯授業時に環境保全型農業の重要性と田んぼや生き物の関わりについて講義します。

②水田による環境保全機能の学習

地域及び首都圏の小学生へ田んぼの生き物調査を実施し、田んぼの生き物の役割と自然資源の重要性について学びます。

③地産地消の推進

給食へ地場産野菜を提供している地元団体への技術向上支援と、新規作物の栽培試験を実施します。また、地産地消保冷庫や地元産直施設と連携し、地場産野菜の安定供給を推進するとともに農家所得の向上を図ります。また、地産地消イベントを開催し、地産地消意識の向上を図ります。

○具体的な事業

事業名	主な内容	区分	未来事業の選択
環境保全型農業推進事業	小学校5年生対象出前授業の実施	拡充	○
人と環境にやさしい農業推進事業③	田んぼの生き物調査の実施	継続	○
地産地消推進事業	給食への野菜供給団体への支援、地産地消イベント開催	拡充	

具体的な展開方策（4） 庄内農業高等学校・首都圏大学と地域との連携推進

地域の農業関連資源や各種団体、高等教育機関と連携し、庄内農業高等学校の更なる発展と魅力ある学校づくりに資するとともに、地域の特性を活かした農業振興と地域づくり、地域活性化に資する取り組みを支援します。特に、将来、地域を担う人材を育むとともに、同校卒業後の地元定着を図る取り組みを推進します。

また、首都圏大学には農村地域をテーマとするカリキュラムを行う学部があることから、藤島地域をフィールドとしながら、地域課題の対処策を探っていきます。

○主な施策

①庄内農業高等学校との地域連携の推進

庄内農業高等学校地域連携協議会会員の連携を強化し、地域、関係団体に支援、協力を呼びかけ、庄内農業高等学校の更なる発展と魅力創出を図り、地域振興に繋がる事業を展開します。

②首都圏大学との地域連携の推進

大東文化大学社会学部学生と地域の農業者や住民が連携して地域の活性化を推進し、人口減少の抑制や、地域の賑い創出を行います。

○具体的な事業

事業名	主な内容	区分	未来事業の選択
庄内農業高等学校地域連携事業	庄内農業高校の発展と魅力創出を図る連携事業	継続	○
首都圏大学・農業農村マッチング事業	大東文化大学生と連携しての地域活性化の推進	継続	○



田んぼの生き物調査

地域環境の再発見！H29 から非農家世帯も多くなっているため、保護者も含めた田んぼの生き物調査を実施



生産農家による首都圏出前授業

練馬区の4つの小学校で出前授業を行うとともに学校関係者へPR。



都内米穀店へ販路拡大

練馬区と協力し、独自認証米を販売店等にPR。首都圏の販売店によるマッチングフェア・商談会参加し販売促進、流通量の拡大を図る。



庄内農業高等学校地域連携事業

農福連携事業で、庄内農業高校玉川農園で、無農薬野菜栽培をメインとした観光農園づくり実施。苗の定植作業を地元の福祉関係者と行った。